

題名(教材名)	あたたかいこころ (はやとの ゴール)
ねらい	相手のことを考えて、優しく接することの大切さが分かり、親切な行為をしていこうとする態度を養う。
授業のポイント	<p><b>こんな1年生</b> この段階の児童は、家庭での生活や学校生活の中で、家族や家の周りの人だけでなく多くの人と関わりを持つようになっていく。その中で、相手を思いやることの大切さを知り、相手のことを考えて親切な行動をしたいという思いがある反面、自分中心の考え方をしつづけていて、親切な行動に移せないこともある。</p> <p>相手を思う温かい心をもって行動することで相手がどんな気持ちになるかを考えさせ、親切な行為のもつよさや意義について考えを深めさせていく。</p> <p><b>教材のポイント</b> 身近な人の状況を考え、自分にできることはないかと相手を思いやる気持ちの大切さに気付かせ、その思いを親切な行動へと移すことの意義について考えさせることができる教材である。</p> <p><b>授業のポイント</b> 困っている相手の心情を考えたり、自分にできることを考えたりすることを通して、ねらいに迫っていく。教材を読み、主人公の気持ちについて考えさせたり、親切な行為をしたり、されたりしたときの気持ちを振り返ったりすることを通して、相手のことを考えて行動することが大切だと気付かせる。</p>
相手のことを考えて行動すると、相手も自分も温かい気持ちになることに気づき、どのように親切にすることができるか、自分事として考えられるようにしていきます。ご家族やお友達に優しく接する姿が見られたときには、認め、褒めてあげてください。	

